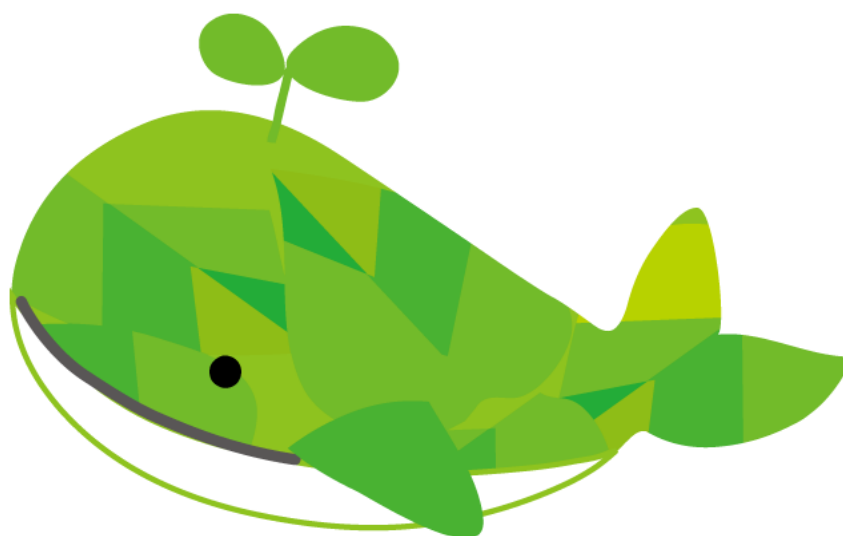


2017年度 環境経営活動レポート



(2017.4～2018.3)

 三協ワシメタル株式会社

2018年7月31日 作成

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

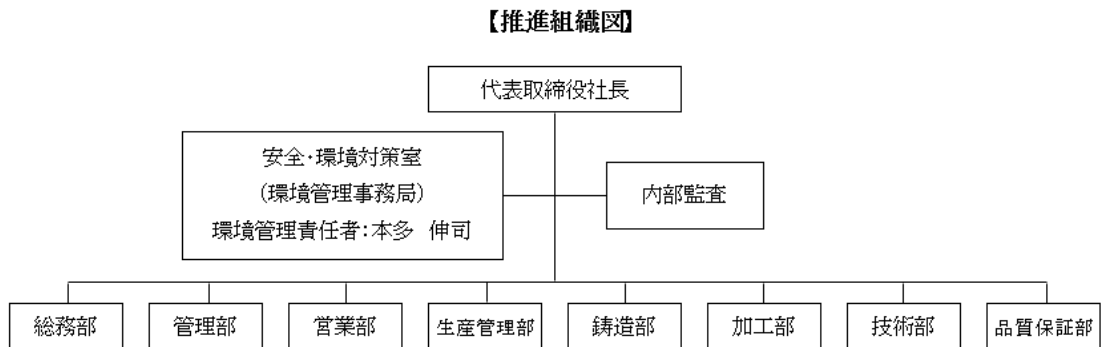
三協ワシメタル株式会社
 代表取締役社長 高島 三喜男

(2) 所在地

富山県高岡市長慶寺575番地

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 安全・環境対策室長 : 本多 伸司 TEL : 0766-21-2345
 推進事務局 管理部部長 : 安多 広志 TEL : 0766-21-2345



【役割分担】

	役割・責任・権限
社長	① 環境経営に関する統括責任 ② 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源(人・設備・費用・時間)の用意 ③ 環境管理責任者の任命 ④ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ⑤ 環境経営目標設定の承認 ⑥ 代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	① 環境経営システムの構築・運用 ② 法規制等の要求事項登録簿の承認 ③ 環境経営活動実施計画書の承認 ④ 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
各部門長	① 自部門における環境経営システムの実施 ② 自部門における環境経営方針の周知 ③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施

	④ 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
環境事務局	① 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ② 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ③ 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ④ 環境経営目標・環境経営活動実施計画書原案の作成 ⑤ 環境経営活動実施計画の実績集計 ⑥ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
安全衛生委員会	① 省エネルギー（二酸化炭素排出量削減）、節水、廃棄物排出量削減及びグリーン購入推進の夫々について、全社活動の推進 ② 上記、各活動の推進のための具体策の提案、及び実行 ③ 活動結果の環境管理責任者への報告
内部環境監査員	① 環境管理責任者の立案した計画に従い、内部環境監査を準備・実施、結果報告 ② 監査不適合の処置について、処置責任部門に助言を行い、処置がとられたこととその効果の確認

(4) 事業内容

アルミ鋳造製品を主とした金属製品の製造及び販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 2,087 百万円（2017 年）

主要製品生産量 1,946 トン（2017 年）

従業員 129 名

工場延べ床面積 15,197 m²

2. 対象範囲

(1) エコアクション 2 1 の対象範囲

本社工場 富山県高岡市長慶寺 5 7 5 番地

建機第 2 工場 富山県高岡市長慶寺 7 3 6 番地

3. 環境経営方針

環境経営方針

< 基本方針 >

三協ワシメタル株式会社は、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、
鑄造・加工技術を生かし、Q・C・Dにおいて顧客満足度を向上させる活動を継続的
に実施することを通して、アルミ鑄物品のベストサプライヤーを目指します。

環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全
活動に取り組み、収益体質を強化すべく製造革新を進めるとともに、人材育成による
事業全体の質を向上させることにより、社会に貢献します。

< 行動指針 >

1. 環境経営目標を定め、全従業員参加で環境負荷削減に向け継続的改善に努めます。
 - ①不良削減と省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②廃棄物排出量の削減と適正処理を推進します。
 - ③水使用量の削減と適正処理を推進します。
 - ④化学物質の使用量について定期的に管理を行い、使用量削減に努めます。
 - ⑤自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上に努めます。
2. 環境にやさしいものづくりの為、環境経営システムを構築し、改善運用することにより、
継続的に環境の維持向上活動を行ないます。
3. 環境関連法令を遵守するとともに、取引先との約束を遵守します。
4. 本環境経営方針は全従業員に周知徹底させ、環境に対する意識を高め、全員で
環境改善に取り組みます。

この環境経営方針は、全従業員に周知徹底させるとともに一般に公開します。

2018年4月1日
三協ワシメタル株式会社
代表取締役社長

高島 三喜男

4. 環境

経営目標

□環境経営活動目標（3年）

項目	単位	2018年 目標	2019年 目標	2020年 目標
二酸化炭素排出量※1	kg-CO ₂ /t	3,425	3,357	3,290
電力使用量(鑄造区)※1	kWh/t	2,712	2,658	2,605
電力使用量(加工区)※2	kWh/H	24.94	24.44	23.95
ガソリンの使用量	L	5,521	5,411	5,303
L P G 使用量※1	Kg/t	347.8	340.8	334.0
水使用量※1	m ³ /t	64.4	63.8	63.2
廃棄物排出量※3	Kg/t	146.8	143.9	141.0
(うちコピー用紙使用量)	(枚)	(333,600)	(326,928)	(320,389)
(うち廃油排出量)※1	(Kg/t)	(62.52)	(61.27)	(60.04)
(うち鑄物砂排出量)※1	(Kg/t)	(562.4)	(551.2)	(540.2)
化学物質の減量	K g	295.7	289.8	284.0

※1 良品鑄造重量 t あたり排出量としております

※1 二酸化炭素排出量は 2015 年度の購入電力排出係数 0.627 kg-co2/kwh によっております

※2 機械加工部門における正味加工時間あたり排出量としております

※3 有価物を除く

5. 環境経営活動計画

当社では多種の部門が存在するため、全体を下記の7部門に分け、それぞれが環境経営活動の実施計画を立案しております。

ダイカスト鑄造部門、ダイカスト加工部門

砂型鑄造部門、低圧鑄造・熱処理部門、精機・部品加工部門

建機加工部門、事務所部門

(1) 電力使用量の削減

- 1.LED 照明への切替え（精機加工部門）
- 2.不良品の低減、まとめ生産（ダイカスト鑄造部門他）
- 3.コンプレッサー電力使用量の削減（全部門）
- 4.断熱炉蓋使用（砂型鑄造部門）
- 5.一週間不使用見込み時の電気炉停止（低圧鑄造・熱処理部門）



(2) ガソリンの使用量の削減

- 1.出張時の公共交通機関利用（事務所部門）

(3) LPG使用量の削減

- 1.保持炉稼働時間の低減、保持炉蓋の作成（ダイカスト鑄造部門）
- 2.型加熱時のフード使用（低圧鑄造・熱処理部門）

(4) 水使用量の削減

- 1.DC 冷却水温度の一定化（ダイカスト鑄造部門）
- 2.離型剤の希釈倍率定量化（ダイカスト鑄造部門）
- 3.夏季のシャワー使用（事務所部門）
- 4.節水活動（全部門）

(5) 廃棄物排出量の削減

- 1.クリーン活動による作動油モレの早期発見（ダイカスト鑄造部門）
- 2.多数個取りによる砂使用量の低減（砂型鑄造部門）

(6) きづきカード制度

毎月業務の改善点など「きづいた事」を専用用紙に記入し提出すると、配点表により審査を行い、基準にて現金を支給。毎月1日に食堂前掲示板にて結果を掲示。

「工程時間の短縮」や「廃棄物の削減」など環境面や衛生面品質面での改善などが行われている。



(7) NW チャレンジ活動 (QC 活動)

年に2度、全社をあげた QC 発表会を行っている。

活動は自社にとどまらず、外部の発表会へも参加し優秀な成績を収めるなど全員参加で活発な活動が行われている。



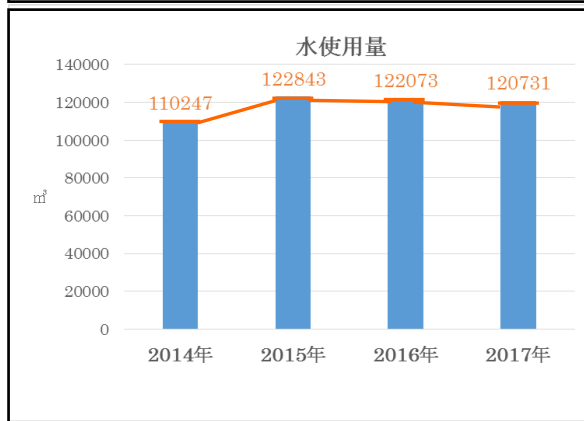
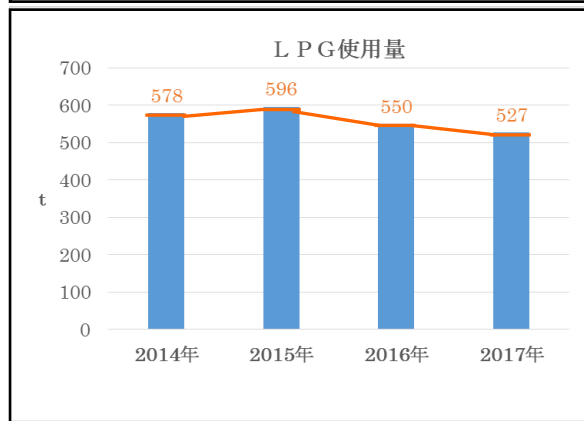
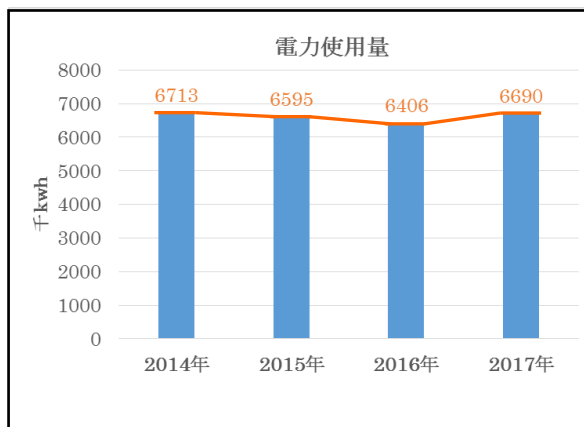
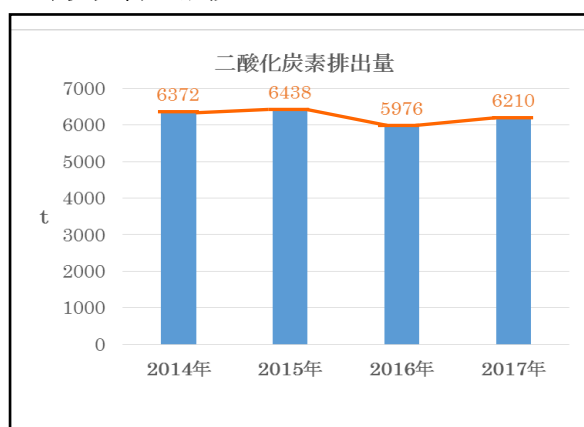
6. 環境経営目標の実績

(1) 主な環境負荷の実績（過去3年間の実績）

（期間：4月～翌年3月）

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6,438,082	5,976,189	6,210,131
	kg-CO ₂ /百万円 (出荷金額あたり)	3,356.6	3,472.5	2,975.6
	kg-CO ₂ /t (出荷重量あたり)	3,383	3,403	3,191
電力使用量	kwh	6,595,313	6,406,182	6,690,241
ガソリンの使用量	L	5,750	5,363	6,472
LPG使用量	Kg	596,850	550,858	527,750
コピー用紙使用量	枚	347,500	340,000	395,000
水使用量	m ³	122,843	122,073	120,731
化学物質使用量	Kg	307.9	292.6	285.3

<環境負荷の推移>



(2) 取組期間の実績 (2017.4~2018.3)

項目	単位	2015年 (基準年)	2017年 目標値	2017年 実績値	目標値達成率 (%)	前年比較
二酸化炭素 排出量 (良品鑄造重量 t当り排出量)	Kg-CO2 (総排出量)	6,438,082		6,210,131		
	Kg-CO2 / t	3,568	3,497	3,191	109	前年度比較 7%改善
電力使用量 (良品鑄造重量 t当り使用量)	k w h / t	2,825	2,769	2,443	112	前年度比較 17%改善
ガソリンの使用量	L	5,751	5,636	6,472	85	前年度比較 21%悪化
L P G 使用量 (良品鑄造重量 t当り使用量)	Kg / t	362.3	355.1	277.6	122	前年度比較 31%改善
廃棄物排出量 (良品鑄造重量 t当り排出量)	Kg / t	152.9	149.8	172.5	85	前年度比較 12%悪化
水使用量 (良品鑄造重量 t当り排出量)	m3 / t	65.7	65.0	63.5	102	前年度比較 14%改善
化学物質使用量	Kg	307.9	301.7	285.3	105	前年度比較 3%改善

※購入電力排出係数 0.627 kg-co2/kwh

※目標値達成率の計算式 $\left(1 - \frac{\text{実績値} - \text{目標値}}{\text{目標値}} \right) \times 100 (\%)$

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(取組期間：2017.4～2018.3)

取組計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組）
<p style="text-align: center;">二酸化炭素排出量の削減</p>	<p style="text-align: center;"> 目標：3,497 kg-co2 / t (基準年度比△2%) 実績：3,191 kg-co2 / t 達成率：109% </p>	<p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的なまとめ生産を行った事等により、生産量が増えたにも関わらず改善されました。 ・次年度は省エネ溶解炉、高速大型加工機を導入しより生産性を向上させます。
<p>電力の削減</p> <p>①不良品の低減、まとめ生産 ②コンプレッサー不稼働時の停止 ③溶解炉電力量の削減 ④炉の計画停止 ⑤LED照明への切替え(加工)</p>	<p>< 鑄造区 ></p> <p style="text-align: center;"> 目標：2,769 kWh / t (基準年度比△2%) 実績：2,443 kWh / t 達成率：112% </p> <p>< 加工区 ></p> <p style="text-align: center;"> 目標：25.46 kWh / H (基準年度比△2%) 実績：26.69 kWh / H 達成率：95% </p>	<p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑄造区では計画的な生産で目標達成。主要部門の達成率は以下の通りです。 熱処理(135%) DC鑄造(131%) ・休日停止により精度を向上させます。 <p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工区では休日のコンプレッサー使用方法を見直し、一部LED照明へと切替えましたが、目標未達となりました。主要部門の達成率は以下の通りです。 精機・建機(95%) ・生産性向上に対応した大型加工機を導入します。
<p>ガソリンの削減</p> <p>①エコドライブ運動の推進 ②エコカーの導入 ③出張時の公共交通機関の利用</p>	<p style="text-align: center;"> 目標：5,636 L (基準年度比△2%) 実績：6,472 L 達成率：85% </p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関やエコカーを使用し、効率的な運用を目指しましたが、緊急納品対応など長距離移動が多かったようです。 ・次年度はエコドライブの理解促進を図るため積極的な啓蒙活動を行います。

<p>LPGの削減</p> <p>①不良品の低減 ②ガスバーナーの火力調整の管理 ③稼働率向上によるロスの低減</p>	<p>目標：355.1 kg/t (基準年度比△2%)</p> <p>実績：277.6 kg/t</p> <p>達成率：122%</p>	<p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑や厳寒によりエアコンの稼働が増加傾向ですが、スポーツドリンクや塩飴の配布等により安全衛生に配慮しつつ極力使用を抑えました。 ・単位発熱量の更新も大きく影響しています。 ・省エネ溶解炉導入予定
<p>水使用量の削減</p> <p>①節水活動 ②元バルブでの水量調整</p>	<p>目標：65.0 m³/t (基準年度比△1%)</p> <p>実績：63.5 m³/t</p> <p>達成率：102%</p>	<p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離型剤の希釈倍率の定量化や冷却水温度の一定化を行った結果、目標達成となりました。 ・設備更新時には節水型の機器を選定します。
<p>産業廃棄物の削減</p> <p>①サンドメタル比の向上による使用砂量の削減 ②工程ロスの削減</p>	<p>目標：149.8 kg/t (基準年度比△2%)</p> <p>実績：172.5 kg/t</p> <p>達成率：89%</p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋳物の生産量、不良品が増え目標未達となりました。 ・工場再編工事が始まった影響も大きいようです。 ・無柁化を推進し砂量減を目指します。
<p>化学物質使用量の減量</p> <p>①代替品の検討 ②使用量、使用頻度の低減</p>	<p>目標：301.7 kg (基準年度比△2%)</p> <p>実績：285.3 kg</p> <p>達成率：105%</p>	<p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査方法変更により、使用量が減少傾向に。 ・次年度も継続いたします。

基準年：2015年4月～2016年3月

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による見直しを行い、下表の通りとなりました。

項目	見直しの有無	コメント
環境経営方針	有	2017年版ガイドラインに対応するための変更。
環境経営目標	有	2017年版ガイドラインに対応するための変更。
環境経営活動計画	無	
環境経営システム	無	
総 評		・エネルギーをよく使う鋳物関係の不良低減に目を向けて下さい。不良が減る事により、自ずと環境保全に効果が表れます。

10. 環境経営活動の紹介

【1】 本社事務所照明は、使用者のいる場所のみ点灯



【2】 エアコンと扇風機の併用で稼働効率アップ



【3】 環境省主催「ライトダウンキャンペーン」への参加

★「ライトダウンキャンペーン」とは ★「クールアース・デー」とは ★ライトダウン参加のご登録 ★ライトダウン参加施設一覧

トップ・ライトダウン参加施設一覧

★ ★ ★ ライトダウンキャンペーン参加施設一覧 ★ ★ ★

★★ 富山県 ★★

他の都道府県を選択: 富山県

> 前の画面へ戻る

あ か さ た な は ま や ら わ

さ し す せ そ

三協ワシメタル株式会社

実施情報	削減	実施項目
------	----	------

啓発ツールダウンロード

夏至ライトダウン 6/22実施情報

- ★ 参加施設数 ★
- 9,450 施設
- ★ 削減消費電力量 ★ (参加施設からの申告による数量の集計値)
- 328,483.49 kWh

クールアース・デー ライトダウン 7/7実施情報

- ★ 参加施設数 ★
- 9,428 施設

【4】 節水啓蒙、節電対策など



人体感知センサーで
消し忘れ防止！



プログラムタイマーで
無駄な稼動時間を削減！